

U-18未来フォーラム事業拠点校 計画書（平成28年度）

1 学校の概要

学校名	北海道富良野緑峰高等学校				課程	全日制	校長名	宮本 鎮栄
生徒数							学科名	園芸科学科、電気システム科、流通経済科、情報ビジネス科
生徒数 平成 年 5月1日現在 ()はクラス数	1年	2年	3年	4年	合計	外国語科担当教員数 3名		
	96名 (4)	106名 (4)	103名 (4)	名 ()	305名 (12)			

2 取組予定等

生徒の現状と本事業により育てたい生徒像	生徒は、本校教育目標「社会の有為な形成者をめざし」4つの異なる職業学科で学んでいる。本事業を通じて、一人一人の社会的・職業的自立に向け、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力を育成し、グローバル化が進行する中で郷土や母校に誇りを持つとともに、世界にも目を向け社会に貢献できる生徒を育成する。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒の社会課題に対する関心と深い教養の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、時事問題について英語をつうじて内容を理解し、意見を発表し共有する。 (2) コミュニケーション能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・英語による国際交流に向けた、Can-Doリストの作成。 ・共通指導案を作成し、聞く量を確保した技能統合型の言語活動の充実。 ・スカイプを用いた定期的な国際交流。 ・全道フォーラムで、他校の生徒との交流。

3 実施計画

実施時期	実施計画	期待される成果
9月	・対象クラスの決定、指導計画の作成	・計画的な指導実践
10月	・Can-Doリストの作成と共通指導案の作成。	・効果的なスカイプによる国際交流に向けた準備及び指導実践。
11月	・研修「ICTを活用した英語による表現活動」（千歳高校） ・スカイプによる国際交流に向けた授業実践開始。	
12月	・第1回スカイプによる国際交流（商業科3年生）	・国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力を向上。
1月	・高教研などで研修及び指導実践の見直し	・より効果的な指導実践のための反省及び改善
2月	・第2回スカイプによる国際交流（商業科2年生）	
3月	・第3回スカイプによる国際交流（電気科1年生）	・国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力を向上。

4 成果の普及方法の見通し

・ホームページを活用し、スカイプによる国際交流の様子、全道フォーラムの様子や実践研究の成果などを情報提供する。